

市議会だより おおだ

No. 67

2022(令和4)年5月26日発行

大田市議会 新体制スタート

- 4月臨時会
第6期大田市議会議員紹介 2
- 議長・副議長:委員会構成決まる 3
- 3月定例会
令和4年度当初予算 4
- 一般質問に7人 10
- 特別委員会最終報告 14

新体制スタート

第6期大田市議会議員を紹介します（議席順）



1番 しおたにひろし
塩谷裕志



2番 いとうやすひろ
伊藤康浩



3番 かき だけんじ
柿田賢次



4番 しみず このむす
清水 好



5番 みやわき やすろう
宮脇康郎



6番 わだ しょういちろう
和田章一郎



7番 かめたに ゆうこ
亀谷優子



8番 ね ぎ かずゆき
根亘和之



9番 もりやま こうた
森山幸太



10番 こま だ ひろたか
胡摩田弘孝



11番 おがわ かずや
小川和也



12番 いしだ ようじ
石田洋治



13番 まつむらのぶゆき
松村信之



14番 かむら けんじ
河村賢治



15番 つきもり かずひろ
月森和弘



16番 いし ばし ひでとし
石橋秀利



17番 しみず まさる
清水 勝



18番 こばやし ぶとし
小林 太

【議席の配置について】

議席番号は、在職年数の少ない方から多い方へ、かつ年齢順です。なお、議長は18番、副議長は1番です。

4月臨時市議会

議長・副議長、委員会構成決まる

正副議長就任あいさつ

私どもは、四月の臨時市議会においてご推挙いただき、正副議長の要職を務めさせていただきますことになりました。

誠に身に余る光栄でありますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。

大田市では、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、経済は依然として厳しい状況が続いています。また、人口減少や厳しい財政状況など、喫緊の課題が山積しております。

大田市議会は、議決、監視機関としての役割のみならず、二元代表の一翼を担う機関として、積極的に政策提言を行うとともに、開かれた議会への取り組みを進め、皆様のご期待に応えるべく、議員一人ひとりが大田市発展に全力で努力してまいります。

今後とも、市民の皆様の格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。ごあいさつといたします。



議長 小林 太



副議長 塩谷 裕志

◎委員長 ○副委員長

常任委員会

総務教育 6名	◎胡摩田弘孝 小林 太	○伊藤康浩 和田章一郎	石橋秀利	河村賢治
民生 6名	◎森山幸太 小川和也	○月森和弘 亀谷優子	清水 勝	石田洋治
産業建設 6名	◎根宜和之 清水 好	○松村信之 柿田賢次	塩谷裕志	宮脇康郎

議会運営委員会 6名

◎小川和也 河村賢治 ○松村信之 亀谷優子 清水 勝 月森和弘

広報広聴委員会 7名

◎塩谷裕志 宮脇康郎 ○亀谷優子 柿田賢次 石田洋治 伊藤康浩 胡摩田弘孝

監査委員(議会選出) 1名

石田洋治

「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち‘おおだ’」
の実現に向け、**当初予算決まる**

可決

賛成多数

(対前年度比5.0%減)



整備予定地の大田運動公園 野球広場

高齢者講習施設新規整備事業
2,500万円

大田自動車学校閉校に伴い、市内で運転免許高齢者講習が受講できない状況にあるため、新たに講習施設を整備するための測量設計等を実施

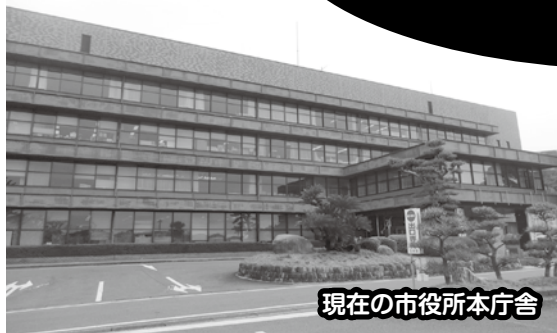


大田市駅前

大田市駅前周辺
東側土地区画整理事業
【特別会計】 **7億8,000万円**

大田市の玄関口としてふさわしい個性ある「街づくり」の実現を目指す

**R4当初予算
特徴的な取り組み**



現在の市役所本庁舎

庁舎整備事業
714万円

耐震性能のない市役所本庁舎について、公共施設マネジメントの考えに基づき、今後の庁舎整備に向けた基本構想・基本計画を策定



行政手続オンライン化推進事業
1,758万円

国の「自治体DX推進計画」において、行政手続のオンライン化対象とされた子育て・介護関係の26の手続きについて、マイナポータルでできるよう、システム整備を行う

3月定例市議会

令和4年2月28日(月)
～3月18日(金)

令和4年度
一般会計当初予算

231.7億円

第2次大田市総合計画 施策体系からピックアップ

✿ 産業づくり <多様で活力ある「産業」をつくる>

中心市街地活性化事業	70万円	大田市中心市街地活性化長期計画に沿って、関係団体と連携し、イベント開催や空き不動産調査の支援など、賑わい創出のきっかけ作りを行う。
新観光振興計画改定事業	633万円	ポストコロナの観光需要回復を見据え、今後の観光のあり方について検討を行い、平成28年度に策定した「新観光振興計画」の改定を行う。

✿ 豊かな心づくり <ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる>

帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業	137万円	今後増加が見込まれる帰国・外国人児童生徒の受け入れ促進のため、日本語指導支援員を配置し、日本語と教科の指導、生活指導等も含めた総合的・多面的な支援を行う。
情報教育推進事業	2,370万円	国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校における情報教育を推進するため、教職員へのサポート体制を整備するとともに、タブレット端末や電子黒板、通信回線等のICT環境の管理を行う。

✿ 都市基盤づくり <くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる>

消防通信指令システム更新整備事業	3億3,700万円	令和6年1月からのNTT固定電話網のIP化に伴い、現行の通信指令システムをIP対応型に更新する。
------------------	-----------	--

✿ 持続可能なまちづくり <協働・共創により「持続可能なまち」をつくる>

総合計画策定事業	143万円	令和5年度から令和8年度の4年間を計画期間とする「第2次大田市総合計画（後期計画）」を策定する。
事務効率化推進事業	594万円	事務の効率化を推進するため、庶務事務システムの適切な運用及びRPAの導入促進、内部管理経費の一元管理等を実施する。
公共施設適正化推進事業	103万円	公共施設適正化計画の進行管理と公共施設の適正化を市民参画・対話・合意により実現するため、推進委員会の開催や中学校社会科授業の実施、ワークショップ開催などの広報啓発活動に取り組む。

3月定例会で審議された その他の内容

令和3年度補正予算

【賛成多数・原案可決】

▼令和3年度一般会計補正予算
(第11号) 2億2000万円

《主な内容》

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 8869万円
 新型コロナウイルスワクチンの追加接種(3回目)及び小児用ワクチン接種(5〜11歳)を実施

- ・大田市観光シティプロモーション事業 2189万円
 新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、大田市の魅力ある観光資源について広くPRし、大田市の認知度向上を図る

- ・除雪事業 5220万円
 市道及び農道の除雪作業に伴う事業費の増額

- ・感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 2070万円

小中学校における感染症対策等支援、消耗品等の整備

新設条例

【全会一致・原案可決】

▼大田市附属機関設置条例制定
 について

大田市が設置する附属機関について、法的な位置づけを明確にするため、新たに条例を制定するもの。

▼大田市債権管理条例制定について

安定的な財源を確保し、市民負担の公平性を確保する観点から、適切な債権管理に取り組むことを目的として、統一的な手続きや基準を定めた条例を制定するもの。

議員提出議案

【全会一致・原案可決】

▼出産育児一時金の増額を求める
 意見書の提出について

少子化対策は、わが国の重要課題の一つにほかならず、子育ての

スタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。大田市議会は政府に対し、現在の負担に見合った形に出生産育児一時金を引き上げることが強く求める意見書を提出した。

1月臨時市議会で審議された内容(1月19日)

令和3年度補正予算

【全会一致・原案可決】

▼令和3年度一般会計補正予算
(第10号) 6億7159万円

《主な内容》

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業
 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、住民税非課税世帯等に対し、一世帯あたり10万円を支給

4月臨時会で審議された その他の内容

令和4年度補正予算

【全会一致・原案可決】

▼令和4年度一般会計補正予算
(第1号) 2億9712万円

《主な内容》

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 8719万円
 12〜17歳の3回目追加接種及び4回目接種を実施

- ・誇れる大田産品推進事業 880万円

新型コロナウイルス感染症等の影響により、厳しい状況下にある市内飲食店等の商品開発の支援や市の魚「あなご」のブランド化推進などにより、地域経済の活性化を図る

- ・情報教育推進事業 2069万円

小中学校におけるICT環境の整備

令和4年度 一般会計予算討論～要旨



ねぎ かずゆき
根 和之 議員

賛成

歳入

人口減少などの影響により国からの普通交付税が約4億4,000万円減少するなど非常に厳しい状況にありながら、国庫補助などを活用した事業編成を行うなど、工夫が見られた。

歳出

義務的経費を対前年比で約3億7,000万円削減したことを評価した。そのほか、臨時財政対策債を除いた市債の発行額を対前年比で約10億円抑制したこと、基金の取崩しについても、中期財政運営方針で想定した範囲内に収めていることなどから、人口に応じた予算規模に近づけようとする努力を感じた。

- ・まちづくりセンター改修事業、高齢者講習施設新規整備事業、行政手続オンライン化推進事業などは、市民サービス向上につながるものとして評価した。
- ・産業振興については、以前より費用対効果が低いのではと懸念されていたヘルスツーリズム事業予算がなくなったことが最大の評価ポイントであった。
- ・大田市議会決算審査特別委員会からの意見や指摘を踏まえ、道路維持予算の確保、情報教育推進事業があったことも評価した。
- ・周知と説明を重ねてきた大田市駅前周辺東側土地区画整理事業について、特別会計への繰入金を予算計上したこと、また、市役所本庁舎整備についての基本計画策定について予算計上したことは、高く評価した。

今、市民の中には、新型コロナウイルス感染症、予期せぬ自然災害など、命や暮らしが脅かされることに不安が渦巻いている。市民に希望と安全・安心を発信することが市政の使命であり、市民の命と暮らしを守ることを市政の基軸に据えるべきである。

大田市駅前周辺東側土地区画整理事業

約56億円にも及ぶ市駅東側の再開発で、山を削って新たに道路を造る計画もある。このような社会基盤整備は、緊急性の高い順に整備が必要である。

行政手続オンライン化推進事業

市民は、マイナンバーカードによって監視され、市民の個人情報を大企業などのもうけの種にされかねない。民

間業者が巨大データを利用する目的でのICT、情報通信技術導入ありきではなく、まず個人データ漏えい防止等の個人情報保護の厳格な運用が先ではないか。

有害鳥獣(イノシシ等)被害対策事業の防護柵設置補助事業

昨年は、4月の早い段階でこの40件の枠がいっぱいとなり、打切りとなった。しかし、昨年より補助金交付は資材費の上限が5万円から3万円に下がり、過去に受けた人は除外となり、予算も200万円から120万円と80万円も減額となっている。農業においては、持続可能な農業経営の実現、耕作放棄地の解消に向け、価格保障の充実など再生産を保障する施策を農業政策の柱に据えるべきだと考える。



おおいし おさむ
大西 修 議員

反対

◇1月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	月森和弘	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	小林太	河村賢治	林茂樹	大西修	塩谷裕志	石橋秀利	清水勝	松村信之
■市長提出議案																						
議案第473号	令和3年度大田市一般会計補正予算(第10号)	可決	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—

※定数20名（現員18名）、うち議長（松村信之）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）
 ※欠は欠席

◇3月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	月森和弘	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	小林太	河村賢治	林茂樹	大西修	塩谷裕志	石橋秀利	清水勝	松村信之
■市長提出議案																						
議案第474号	令和4年度大田市一般会計予算	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第475号	令和4年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第476号	令和4年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第477号	令和4年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第478号	令和4年度大田市介護保険事業特別会計予算	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第479号	令和4年度大田市生活排水処理事業特別会計予算	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第480号	令和4年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第481号	令和4年度大田市農業集落排水事業特別会計予算	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第482号	令和4年度大田市大田市駅周辺土地地区画整理事業特別会計予算	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第483号	令和4年度大田市水道事業会計予算	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第484号	令和4年度大田市下水道事業会計予算	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第485号	令和4年度大田市病院事業会計予算	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第486号	令和3年度大田市一般会計補正予算(第11号)	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第487号	令和3年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第488号	令和3年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第489号	令和3年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第490号	令和3年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第491号	令和3年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第492号	令和3年度大田市大田市駅周辺土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第493号	令和3年度大田市水道事業会計補正予算(第4号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第494号	令和3年度大田市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第495号	令和3年度大田市病院事業会計補正予算(第4号)	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第496号	大田市附属機関設置条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第497号	大田市債権管理条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第498号	どがなかな大田ふるさと寄附条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

議員名等 議案名	議決結果	賛成	反対等	月森和弘	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	小林太	河村賢治	林茂樹	大西修	塩谷裕志	石橋秀利	清水勝	松村信之
■市長提出議案																					
議案第499号 大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第500号 大田市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第501号 大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第502号 大田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第503号 大田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第504号 大田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び大田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第505号 大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第506号 大田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第507号 大田市立学校設置に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第508号 大田市生活改善センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第509号 可燃性一般廃棄物処理事務の委託の廃止について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第510号 土地改良事業計画について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第511号 土地改良事業計画について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第512号 市道路線の認定及び変更について	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
議案第513号 和解について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■議員提出議案																					
議案第514号 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
意第13号 出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数20名（現員18名）、うち議長（松村信之）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）
 ※欠は欠席

◇4月臨時会提出議案等賛否一覧表

議員名等 議案名	議決結果	賛成	反対等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太
■議員提出議案																					
議案第1号 大田市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号 大田市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■市長提出議案																					
議案第3号 令和4年度大田市一般会計補正予算(第1号)	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号 令和4年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号 損害賠償の額の決定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号 監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	—

※定数18名、うち議長（小林 大）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）
 ※除は除斥（当該議員の一人上または利害関係のある議案のため採決等議事には加わりません）

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、3月3日、4日に行われ、7人の議員が執行部の考えをいただきました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.oda.lg.jp/>)で閲覧できます。)



▲静岡まちづくりセンターで展示された段ボールでできた静岡駅 (段ボールクラフト作家 原禎幸さん制作)

被災者を受け入れる 民泊施設の拡充を

避難者を定住に結びつける
取り組みは必要

和田 浩司 議員



質問

巨大地震や津波災害が予想される太平洋沿岸地域では、防災対策に加え避難場所確保も重点課題である。ただ予想される被害が余りにも甚大なため、避難よりも移住を選択する被災者も確実に存在する。そこで安心できる長期の避難場所として存在感が広がる民泊施設を大田市でも拡充させ、避難民の受け入れとともに、移住促進や空き家対策としても活用してはどうか。

答弁

大田市における大規模災害発生時の避難者受け入れについては、他県等で大規模災害が発生し、国の要請として避難者を受け入れる際には、島根県が窓口となり県内市町村に振り分けを行うことと

なっています。

シームレス民泊制度については、本年度9月に策定された大田市地域防災計画の想定される被害の概要では、大規模な津波被害は想定されていないこと、現在大田市において多数の民泊施設の設定が必要な状況ではないことなど、現時点では制度の導入については考えていない。

しかしながら、避難者の方々を定住に結びつける取り組みは必要であると考えます。民泊施設を活用した定住対策については、あくまでも持続可能なまちづくりにおいて取り組むべき手法の一つと考えています。

シームレス民泊制度とは…

民泊を災害時に避難所として活用
しています。



和田議員その他の質問項目

・公民連携テスクの設置について

新型コロナの対応と 影響は

ワクチン接種の機会を設け、
予防対策を継続する

しみず まさる
清水 勝 議員



質問

国内感染は、在日米軍基地が発生源で爆発的に拡大し、国内で515万人超え、重症者も急増、大田市においても最多の200人超の感染者が生じた。政府の感染対策は、原則入院・受診・検査から、自宅療養への変更があったが、以下の点について伺う。

- ①3回目接種の前倒しや、11歳未満の接種と健康被害対策
- ②濃厚接触者への待機期間の短縮と自宅療養の実態
- ③無料化されたPCR検査と抗原検査キットの現況
- ④公表された医療機関の病床確保数と利用率
- ⑤学校現場や児童福祉施設での感染実態と予防策

答弁

①2回目接種から原則8ヶ月以上経過した方に行うとしていたが、国の指示に基づき前倒し接種に努めている。5歳から11歳への接種は、3月中旬からの予定で、安全性に重大な懸念は認められないうつ。

②令和4年1月28日から7日間に短縮された。待機期間は保健所で決定され、健康観察が実施されている。

③県では、令和4年1月13日より「PCR等検査無料化事業」を実施しており、1月末までに762人が検査を受けている。抗原定性検査キットは確実に供給されている。

④令和4年3月1日現在、県の確保病床数は368床で、利用率は24.7%。病床利用率等は、県のホームページで毎日公表されている。

⑤学校関係者に感染者が確認された場合は、学校全体の臨時休業を基本としている。保育施設に対し、1月20日から2月20日まで登園自粛を要請した。放課後児童クラブは、小学校の一斉休業でも開所し、児童の受け入れをした。

大田市駅前東側の 区画整理事業 計画を見直す考えは

関係者の意見を聴きながら
令和10年度事業完了を目指す

かめたに ゆうこ
亀谷 優子 議員



質問

商業と居住環境を創出するという目的で『大田市駅前東側区画整理事業(想定される事業費として約42億円)』が着手される予定で、県道整備を合わせる約56億円にのぼる大きな事業である。

市民からは人口減少が続く中「これだけの巨額な公共投資の必要があるのか。」「もっとコロナ対策に力を入れてほしい。」「などの声が出ている。

今一度、立ち止まって計画を見直す必要があると考えるが、所見を伺う。

答弁

駅前西側区画整理事業は、平成18年に完了し、その後、地域住民・関係機関・関係団体など

と検討を積み重ね、駅前の宅地の利便性、賑わいの創出を目的に、駅前東側約5.4ヘクタールを区画整理事業で整備することを昨年4月に都市計画決定し、本年1月には県から事業認可を受けたものである。

平成31年度策定した「大田市立地適正化計画」で市街地の重点的な改善の必要性から、駅前周辺を生活サービスイヤ「ミニミニ」の持続的な確保のための居住誘導区域と医療福祉・商業などの機能集約のための「都市機能誘導区域」に指定しその核として、この区画整理事業を行うものである。

当初計画から長年経過する中、区域内の関係者からは早期の整備を切望されており、関係する皆様の意見を聴きながら、令和10年度の事業完了に向け進めていく。

亀谷議員その他の質問項目
・国民健康保険について
・障害福祉について

「小・中学校の再編」 考え方は

様々な角度から検討する。

おおにし 大西
おさむ 修 議員



受け「学校再編の考え方」について、見直す必要があると考えている。子ども達にとって、よりよい環境をどのように整えていくかを最優先に考え、様々な角度から検討することとしていふ。

質問 学校統廃合の目的はコスト削減だけで、教育的効果の根拠も、住民にとって安心快適な地域づくりという視点もない。

「コロナ禍は、少人数学級の良さや公共施設の役割の重要性を浮き彫りにした。学校を含む地域の将来ビジョンをどう描くかが問われている。小・中学校の再編と鳥井小体育館の雨漏り対策の考え方を伺う。

答弁 本市の学校再編計画については、令和3年2月に「学校のあり方に関する実施計画」を策定しており、小中学校は原則再編しない、中学校は第二中学校の第一中学校への統合を検討している。しかしながら、策定後に出生数が172人となり、前年より20人以上減少したことを

鳥井小中学校体育館の雨漏りは、防水シート及び建物外壁の劣化も原因であると推測される。すでに応急処置を検討しているが、冬期であるため屋根での作業が困難であり、春期の実施を予定している。このような雨漏りは、市内小中学校の様々な箇所が発生しており、詳細な建物調査を行い、状況を把握する必要があると考えている。



大西議員その他の質問項目
・ 新型コロナウイルス対策の拡充について

デジタル田園都市構想に係る、行政オンライン化の取り組みは

国のデジタル化の進捗に合わせ
オンライン化を進める

いしだ 石田
ようじ 洋治 議員



効率化に寄与する、子育て、介護関係の26手続きのオンライン化を令和4年度中に、住民記録や子育て、介護、福祉など17業務を処理する住民情報システムの標準化、共通化については、令和7年度を目標に行う。

質問 現在、政府の「デジタル田園都市国家構想」への取り組みをはじめ、社会のデジタル化への流れが加速する中で、地域の課題解決に資するデジタル化を、適切かつ迅速に推進し、すべての住民がその恩恵を享受できる社会を構築する時代が到来している。今後の大田市のデジタル化構想について、行政手続きのオンライン化の取り組みの所見を伺う。

答弁 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い外出抑制が求められる、自宅等からオンライン手続きが完了できる「行政手続きのオンライン化」に対する市民の関心は高まっていると認識している。

住民サービスの向上と行政事務の

秋田市の事例のように、スマートフォン等を利用した各種手続きのオンライン化の取り組みは、市役所窓口に行かなくても手続きが行えるようになり、利用者の負担軽減、事務処理の効率化が可能となる。

これからの行政手続きのオンライン化は、国の補助金を活用し、国のシステムとのオンライン接続にかかる基盤整備、既存の住民情報システム等の改修を進め、

市民の利便性の向上に向け、確実な利用開始を目指す。



求められる地域防災力の 充実強化 消防団組織のあり方の検討を

消防団は不可欠な存在
組織編成や処遇改善に
取り組む

ねぎ かずゆき
根宜 和之 議員



住民や消防関係機関以外の様々な団体と一体となつて防災に取り組む地域総合力が求められており、住民が地域防災の担い手となる環境基盤を整えることが必要である。

消防団は、本来の役割はもとより、地域コミュニティの核であり、地域総合力の礎となり、地域の総合的な防災力を高めるリーダーとしての役割が期待される。今後は、地域の実情に応じた出動体制の見直しや効率的な施設の集約など、組織の編成や施設の配置について、地域ごとの具体的な計画策定に取り組んでいく。

消防団員の報酬などの処遇改善は、団員の士気向上や家族の消防団活動への理解を得るために必要不可欠であり、報酬額の引上げに向け、庁内で協議を重ねている。国も、来年度から消防団員の報酬などに対する地方財政措置について、見直しの考えを示しており、これらを踏まえ当市でも消防団員の処遇改善に取り組んでいく。

質問 災害の多様化が一層進むことも想定され、地域住民の安全・安心の確保のためには消防団を中心とした地域防災力の充実が重要である。
人口減少が進む中、消防団組織のあり方から再検討する時期ではないか。消防団として求められる役割や機能、組織編成や配置基準について伺う。団員確保の観点からも、年間報酬等の引き上げなど処遇改善をすべきではないか。

答弁

国の消防団充実強化法の制定により、消防団の充実強化や地域防災力強化のため、当市も団員の確保や装備品の整備に取り組んできた。しかし、過疎化や高齢化の進展により、多様化する災害等には、地域

学校再編の考え方や 方向性は

スピーディーかつ
現実的な議論を行う

こま だひろたか
胡摩田弘孝 議員



中学校の保護者、生徒、地域の方々ともスピード感を持って意見交換を行った。9月からは、池田小の川合小への統合についても、この考え方に基づいて協議を重ね、令和5年度の統合を決定した。

質問 教育委員会では、児童・生徒の個性や適性に応じた多様な学びを追求できる体制や、望ましい教育環境を整えていくための具体的な指針として、「学校のあり方に関する実施計画」をまとめているが、予想を超える出生数の減少や、施設の老朽化等に伴い、小中学校のあり方についても、これまでに決めた方向性の変更も含め、早急に検討する必要があると思うが所見を伺う。

答弁

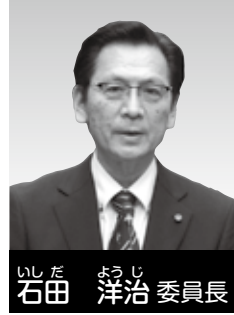
学校再編については、関係者による検討委員会で協議を重ね、最終的な方針として実施計画が定められた。今年度は、北三瓶、志学小中の関係者と共に義務教育学校の先進地視察及び協議を行い、また、第三

学校再編については、関係者による検討委員会で協議を重ね、最終的な方針として実施計画が定められた。今年度は、北三瓶、志学小中の関係者と共に義務教育学校の先進地視察及び協議を行い、また、第三



▲大田小学校

行財政改革 特別委員長 最終報告



いわた よしあみ 委員長

2月1日に特別委員会を開催。

市役所本庁舎整備について

【説明事項】

新庁舎の建設位置は、「大田市駅前周辺東側土地区画整理事業地内」と、「現在の庁舎敷地（敷地周辺を含む）」の2つの候補地で庁舎整備を検討していきたい。

問 市役所本庁舎の移転は、市民が利用しやすい、利便性のあるところが一番大事である。集合庁舎にするのか、分庁舎にするのかは、メリット、デメリットを整理する必要があると思うがどうか。

答 地方自治法上も、事務所の位置は住民の利用に最も便利であるよう定められている。分庁舎にするのか、集合庁舎にするかは、市民と意見交換しながら決めていきたい。

い。

問 本庁舎は、耐震性の問題から早期に建て替える必要がある。駅東側に建設する場合、どの程度の面積が必要になるのか。

答 今後どういった建物にするのか、面積がなければ、2階、3階と上にあげる方法もある。

市税収納対策強化方針の策定について

【説明事項】

大田市の市税収納率は平成28年度以来最下位が続いている。こうした状況を打開するため、市税収納対策強化方針を定めた。強化方針は、①徹底した財産調査及び差押えの強化。②体制強化と職員のスキルアップ。③庁内連携体制の強化。④納税機会の拡大の4点である。

問 生活困窮者については、他の部署とも関係してくるので、連携した対応が必要となってくるがどうか。

答 生活困窮者に対する対応については、福祉部局との連携が重要となってくる。今後、ワーキンググループで検討し、地域福祉課や大田社会福祉協議会と連携し対応していきたい。

問 競売可能な不動産を発見した場合、積極的に差押えをするとある

が、どのような対応をするのか。また、不動産は所有しているが、所得がなくて支払いができない場合、物納ができるのか。

答 不動産の差押えについては、土地の場合は、抵当権等の設定があるかどうかを調査し、競売の可能性があるかを調査する。ある場合は、差押えをする。物納については、地方税法上は不可である。

債権徴収体制の見直しについて

【説明事項】

第4次大田市行財政改革推進大綱実施計画において、滞納整理については、専門的な知識が必要となってくることから、債権管理の適正化及び効率化を図るため、債権徴収の一元化を含む徴収体制について見直しをし、検討を行うとしている。

問 債権徴収について、マイナンバーカードを使ったデジタル的な対応をしているのか。

答 マイナンバーカードを使った対応については現在していない。国のシステムの共通化が令和7年度末を目標に17業務において示されており、今後マイナンバーカードを使った手続きが示されれば、対応を図っていききたい。

問 徴収業務の一部移管とあるが、どこの部署が担当するのか。

答 同一の滞納者に対し、重複して複数の課で担当している場合があり、税務課で窓口を一本化するなど対応を考えていきたい。

行財政改革特別委員会として提案、大田市として取り組んだ成果

- ① 解体工事における最低制限価格の見直し。
- ② 報酬及び謝金単価の見直し。
- ③ 軽公用車の削減。
- ④ 市税等の収納対策強化。

次期特別委員会への申し送り事項

- ① 公共施設適正化計画について。サンレディー大田については、市民、利用団体の意見を聞き、今後のあり方を提案していただきたい。おおだふれあい会館については、今後判断基準を定め取り組むべきである。
- ② 市税収入ほか歳入の確保について。ふるさと納税、企業版ふるさと納税に取り組んでいただきたい。市民会館周辺については、売却も含め早期に検討すべきである。
- ③ 行政のデジタル化の推進。
- ④ 会計年度任用職員の登用。
- ⑤ 勤労者の複合的な施設の検討。
- ⑥ 報酬、謝金の見直し、公用車の適正化については、評価できる。

**議会改革
特別委員長 最終報告**



かわむら けんじ 委員長
河村 賢治

2月14日に特別委員会を開催。

議員定数の調査検討について

昨年3月議会において議員定数を2削減する条例改正を議員提案により行った。

意見

・市民からは16という意見もあったが、議会活動を行う上で18に決まったことは間違いないように思う。人口の減少率が根拠にあったが、数字だけがひとり歩きしてほしくない。
・今回決まった議員定数は、妥当であると判断するが、しかるべき時期が来たとき、再度検討していく必要がある。また、特に若者、女性がアプローチできるような枠を検討するなど、工夫ができないか。
・人口減少は今後も進むと思うが、地域住民の声が届くよう、議会運営の中身をしっかりと議論すべきである。

る。

議員報酬について

意見

・日本全体で賃金が上がっていない中では、現行のままが良い。
・コロナ収束後は、引き上げる方向で調整すべきである。
・なり手不足の解消のためにも、十分な報酬を定め、若者が立候補しやすい環境づくりが必要である。
・委員長、副委員長の役割の責任に応じた手当についても検討すべきである。

申し送り事項

市勢や社会・経済情勢を考慮しての判断が必要であることから、今日まで長年にわたって開催されていない報酬審議会を定期的に開催し、審議するよう求めるとともに、議会としても、引き続き検討を続けていきたい。

政務活動費について

意見

・議員活動が十分にできるよう、限度額の引上げが必要である。
・現状のままが良い。
・執行状況が議員によって、まちまちであり、まずは実態調査が必要である。

政務活動費は、幅広く議員としての活動にも使えるものであり、まずは議員それぞれが勉強し、対象項目

や使い方のルールづくり、マニュアル化を協議していく必要があることから、次期議会においても、引き続き検討を続けていただきたい。

議会報告会について

フアシリテーション方式での開催を本特別委員会から議長及び広報広聴委員長に依頼した結果、本年度は「あでかけトーク」として市民の皆さんの意見交換の形をとっていた。引き続き、実りある会が続くよう願いたい。



若者や女性との意見交換の機会

昨春秋、大田高校の1年生全員を対象に、特別委員会の議員が4クラスに分かれて「出前授業」を行った。生徒からは、SDGsの観点を踏まえ、大田市の現状と未来、まちづくりや大田市の駅前のごと、人口問題など多岐にわたり提案があった。

意見

・生徒にとって大田市を見つめてい

ただ良い機会となった。

・若い世代に議会を知ってもらい、大変良かった。
・議会として若い世代と交流する機会はこれからも続けるべきだと思

う。
・市政に対してのニーズをまとめて発表することは高校生側としても有意義であったのではないかと。

議会としては初めての試みであったが、大田高校の生徒との交流ができたことは大変有意義であった。今後は、手法について工夫が必要ではあるが、学校と協議、調整を図りながら、引き続き検討を重ねていきたい。

タブレットの導入について

申し送り事項

次年度の導入に向け、使用マニュアルの作成や委員会などでのリモート会議の開催など、次期議会において、検討していただきたい。



新広報広聴委員会紹介



●広報広聴委員会が協議する主な事項●

- 1、議会広報紙(市議会だよりおおだ)の編集・発行
～見やすく、伝わる広報紙を目指します～
- 2、議会のウェブサイトの編集・発信
～スピーディーな情報発信を心がけます～
- 3、議会報告会の開催
～市民の皆さんと意見交換できるよう取り組みます～

4/26

中国市議会議長会 定期総会(正副議長)



4/27

山陰道整備に関する 意見交換会ほか(議長)



議会を傍聴 してみませんか

次の定例会の予定は6月です。
市議会を身近に感じる良い機会です。
◇傍聴席は定員34人です。
◇新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用、アルコール消毒にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

6月定例会日程 (6日～21日)

- 6日 本会議(開会・議案上程)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(上程議案に対する質疑)
- 14日 総務教育委員会
- 15日 民生委員会
- 16日 産業建設委員会
- 21日 本会議(表決・閉会)

傍聴は、市政に関する状況や方針、地域の課題なども取り上げられる一般質問がおススメです。
臨場感あふれる議場でのやりとりをぜひご覧ください。
地域や職場のグループで勉強会はいかがですか。授業の一環での見学もお待ちしています。
団体での傍聴は、事前に議会事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先：大田市議会事務局
(TEL：0854-83-8137)

編集後記

春爛漫、入学式には桜の開花はあたり前の演出、今は気候に恵まれ久々に新入学の初々しい子供たちと桜花と一緒に楽しむことができました。
その一方、コロナや紛争により困窮する人々を連日のように見聞きし、平和であたり前の生活が如何に大切なのが改めて感じさせられます。
さて、議会も新たな議員を迎えて、新たな考えや意見などを加え、将来に向け耐え得る市政づくりに取り組むことの重要性和、議会の責務を改めて感じているところがあります。
市議会だよりの発行では、新たなメンバーを迎えて、新たな発見と発想で、市民の皆さまには解り易いより良い広報づくりなどに向け取り組んでまいります。
最後にあらゆる混乱が治まり、日常の生活が一日も早く戻りますように。
(塩谷)

広報広聴委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 塩谷 裕志 |
| 副委員長 | 亀谷 優子 |
| 委員 | 石田 洋治 |
| 委員 | 胡摩田弘孝 |
| 委員 | 宮脇 康郎 |
| 委員 | 柿田 賢次 |
| 委員 | 伊藤 康浩 |